科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：労働法 ILAS Seminar :Employment Law			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　小畑　史子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	共北3C			使用言語	日本語
キーワード	労働法 / 労働環境 / 雇用社会 / 企業秩序						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

授業回数はフィードバックを含め全15回です。
15回の授業の中で、新聞等で報道されている、または職場で身近に起こる、雇用や労働に関する法律問題を10項目程度取り上げます。
毎回のテーマにつき、担当者（担当グループ）による発表と、それに基づく全員でのディスカッションをしてもらい、各テーマについての知識を深め自分の意見を説得力を持って主張できるようになること、そして自分の担当したテーマにつき深く掘り下げて準備し、聞き手に分かりやすく効果的なプレゼンテーションをする訓練を積んでもらいたいと考えています。

[到達目標]

わが国の雇用社会で起こっている問題を深く理解し、ディスカッションを通じて、それに関する自分の考えを明確にする。社会問題に関する概略と問題の所在を聞き手にわかりやすく正確に伝え、また、議論の整理とまとめができるようになる。

[授業計画と内容]

授業回数はフィードバックを含め全15回です。
15回の授業でどのようなテーマを取り上げるかは、初回に受講生の希望を聞いて決める予定です。
例としては、以下のようなものが考えられます。

・採用・就職活動
・配転・出向
・労働時間
・年次有給休暇
・ブラック企業
・育児休業・介護休業
・パワー・ハラスメント
・最低賃金
・障害者雇用
・職務発明
・過労死・過労自殺

その他の回には、評価が分かれている判決を解説し、それにつき全員で議論したり、またスピーチの練習をする等の内容を予定しています。

ILASセミナー ：労働法(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：労働法(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（プレゼンテーションのできばえ50点、授業内での発言50点）

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

グループ・プレゼンテーションを成功させるためには、個人での準備と共に、グループメンバー全員で集まって打合せをすることが必要です。グループ全体での準備に積極的に参加し、分かりやすく魅力のあるプレゼンテーションを協力して作り上げてください。個人で発表する場合には、テーマに関する情報を幅広く集め、多様な視点から検討し、その上でまとまりのあるプレゼンテーションをするよう心掛けてください。

[その他（オフィスアワー等）]

他の発表者（発表グループ）の発表担当の回には、プレゼンテーションを聞いた後、積極的にディスカッションに参加してください。相談があれば、授業の前後でもそれ以外の約束した日時にも乗りますので、申し出てください。
火曜12時40分～

[主要授業科目（学部・学科名）]